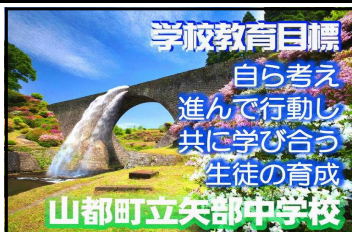




虹の架け橋



鎌共向 校
磨生上 訓

第 11 号

R6.9.27発行
文責 永田 功臣

爽やかな季節になりました

残暑はまだまだ続いています。秋分を過ぎ、朝晩はやっと、この季節らしい気温に落ち着いてきました。暦も9月末となり、今年度の折り返し地点を迎えます。持久走に例えると、呼吸や心拍数が走りにマッチして自分のペースで走れるところではないでしょうか。中にはランナーズハイと呼ばれる気持ちいい走りができている人もいます。一方で、前半飛ばしすぎて疲れが出てきている人もいます。ここで一度、自分の調子を確認、ゴールをイメージして、後半どのような走りをするか考えてほしいと思います。

「〇〇の秋」といわれるように、この爽やかな季節にはいろいろな行事や学習が計画されており、活動もしやすく、穀物や果物と同じように、これまでの努力が成果として表れる時期でもあります。それぞれに今頑張っていることをやり切って、達成感を味わい、自分の力にしてほしいと願うところです。



合唱のグループ別練習

学校を見渡してみると2学期の「総合的な学習の時間」の地域調べの計画を練っているクラス、合唱コンクールに向けて音のバランスをとっているグループ、書道や詩の制作に取り組んでいるクラス、さらには夏の暑さを避けて行われている水泳の授業、駅伝の試走に出かける選手たち等様々です。中には、朝早くから登校してランニングをし、その後校庭の清掃活動を始めた生徒も見られます。この活動がもっと全体に広がらないかと思っています。



駅伝の試走の様子

本当に学びの場としての「学校」らしい爽やかな雰囲気を感じます。この爽やかな季節「実りの秋」にいろいろな事にチャレンジし、頭も心も体もさらに成長してほしいと思います。※「読書の秋」でもあります。週末、ゆっくりと本を読んでもみませんか？ 電子図書館も活用してください。

秋の交通安全運動実施中！

21日(土)から30日(月)にかけて「秋の全国交通安全運動」が実施されています。それに合わせて、26日(木)に山都町でも交通安全啓発キャンペーンがあり、生徒会の3年生3人が参加しました。



そして、山都警察署前を通る車に矢部高校生が栽培した花鉢を渡しなが、交通安全を呼びかけていました。



体験した、3人には学校にも呼びかけてもらって、地域と共同して、交通安全の意識の向上を図りたいと思います。

ちよこっとサイエンス

最近、ヒガンバナが校庭のあちこちで開花しています。その名の通り、秋の彼岸に合わせて開花し始めました。どうやって季節を知るのだろうと思い、ちょっと調べてみると、土中の花芽が温度の変化を感じ取るのだそうです。その他にも花が咲く頃には葉がなかったり、種ができなかったりするなどとても不思議な花です。黄色いヒガンバナや白いものもありますが、種類が少し違うものだそうです。種をつけずに増えるので遺伝子は変わらず、いわゆるクローンです。そのため、同じ色や大きさ、同じ開花期を持っているのです。身の回りにある「なぜ？」についてちよこっと調べてみませんか。

